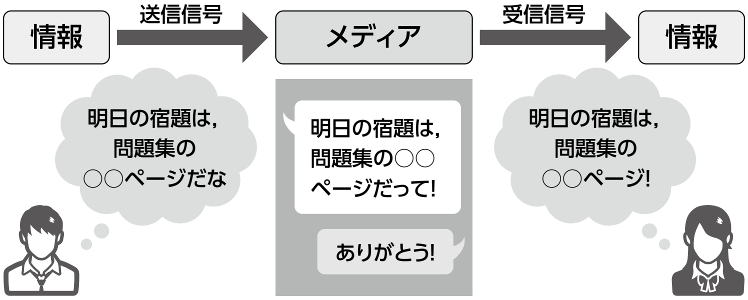
## 第2講　メディアとコミュニケーション
# PART1　コミュニケーション手段の変化と影響

目標
- 情報とコミュニケーションとの関係性を理解する。
- マスメディアとソーシャルメディアの違いを理解し，その代表例を挙げられるようになる。
- 不確かな情報に対応できるようになる。

## Chapter1　コミュニケーション手段の変化と影響

### コミュニケーションとメディア

〔①　　　　　　　　　　　〕：人から人へ情報を伝達して意味を分かち合うこと。

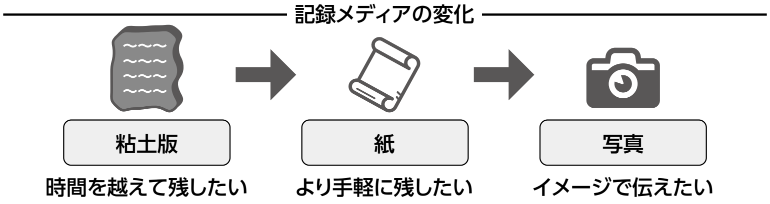


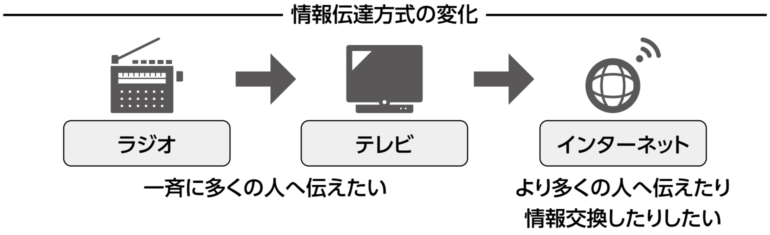

情報の歴史は，コミュニケーションの歴史でもある。その歴史は,「人の思い」とそこから生まれる「技術（メディア)」によって成り立っている。

知っておこう
Communication の語源はラテン語の communicatio「分かちあうこと，共有すること」である。

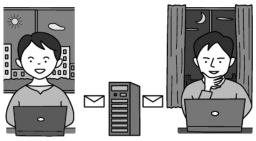
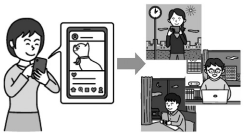
復習
メディアとは，情報を伝える仲介役となる存在のことである。

知っておこう
コミュニケーションの歴史を作り上げるのは，技術だけではない。例えば「感情」をより正確に伝える為に，我々は顔文字，絵文字，スタンプとさまざまな感情表現ツールを時代に応じて作り上げてきた。





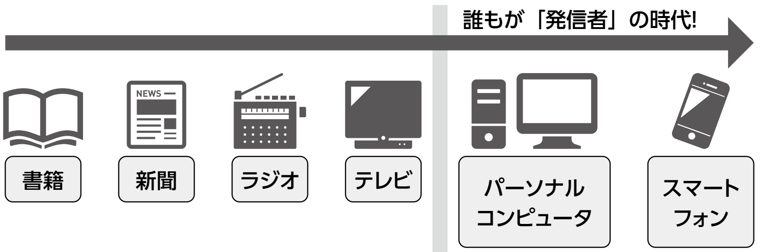

## • 形態によるコミュニケーション技術の分類

| | 〔② 〕 | 〔③ 〕 |
|---|---|---|
| 〔④ 〕 | 電話など |  メールなど |
| 〔⑤ 〕 | ライブ配信など |  SNSなど |

重要

同期性は厳密に定義できるものではない。例えば「チャット」ツールは，同期・非同期のどちらにも分類することができる。

## 「マスメディアとソーシャルメディア」




〔⑥　　　　　　　　〕
テレビ，新聞などのように，特定の発信者から不特定多数の受信者に情報を発信するメディア。

〔⑦　　　　　　　　　　〕
ネットワーク上で多数の人が情報を交換，共有しながら，共同で情報を作り上げ，発信していくメディア。

知っておこう

ソーシャルメディアの具体例
・ブログ
・SNS
・動画共有サイト
・電子掲示板　　　　など

現代では多くのメディアにおいて，〔⑧　　　　　　　　〕に情報をやり取りすることも，当たり前となった。

重要

インターネットによって多くの人がつながるようになった。そのためより多くの発信ができるようになり，集団による知の創造も活発となった。オンライン百科事典 Wikipedia などは，その象徴である。

## ソーシャルメディアの不確かな情報

ソーシャルメディアでは,〔⑨　　　　　〕が無い（または不明な）「噂」など，不確かな情報が広まることも多い。

不確かな情報の中には，次のようなものもある。

・〔⑩　　　　　　〕：意図的・意識的に作られた虚偽の情報。

・〔⑪　　　　　　〕：勘違い・誤解により広まった間違いの情報。

→どちらも，我々の判断に深く影響を及ぼす。

### • 情報源による情報の分類

(1)〔⑫　　　　　　　〕：実際に自分自身で見聞きして得られた情報。ただし，一次情報だけで生活することはとても困難。

(2)〔⑬　　　　　　　〕：他者から得られた情報。

〔⑭　　　　　　　　〕：情報の信頼できる度合いのこと。

〔⑮　　　　　　　　　　　〕：得られた情報を他の情報とつきあわせること。情報の発信者が誰か，発信者に対する評価はどのようなものか，よく確認する。

まとめ

- 「人の思い」と「技術（メディア)」がコミュニケーションの歴史を作り上げてきた。
- テレビや新聞のような特定発信者から不特定多数へ発信するメディアを**マスメディア**，ネットワーク上で多数の人が作り上げていくメディアを**ソーシャルメディア**という。
- ソーシャルメディア上には不確かな情報（一部は偽情報・誤情報）も多くあふれている。**クロスチェック**などを行い，情報の信ぴょう性をよく検討する必要がある。

# Chapter2　実践問題

**問 1**　マスメディアに比べ，ソーシャルメディアでは真偽不明の情報が流れやすいのはなぜか，考えてみよう。

**問 2**　SNS 上で，友人から次のような不確かな情報が流れてきた。(1) この情報は何故広がっているのか，(2) 流した人はどのような意図を持っているのか，(3) 真偽を確認する方法にどのようなものがあるか，それぞれ考えてみよう。

> R 学園に 20 年以上勤める先生から聞いた，長期休暇後に行われる休み明けテストについての話です！
> 成績に関わる重要なお話だったので，1 人でも多く R 学園に通っている生徒に知ってもらいたいです！ぜひ広めてください！
> 夏休み明けのテストは，たとえ高得点だろうと，赤点だろうと，成績にはまったく影響がないとのこと！
> 夏休み明けのテストは，長期休暇中に少しでも多く勉強をしてもらうために行っているとのこと！
> だから，推薦に成績を必要としている生徒は休み明けテストの点数を全く気にしなくていいとのことです！

＜MEMO＞

# 第2講　PART1　確認問題

問 1　コミュニケーションの説明として最も適切なものを，次の①～④のうちから一つ選びなさい。

① 情報をただ相手に伝えることである

② 情報を伝える仲介役となる存在である

③ 同期型，1 対多型など，形態によっていくつか種類がある

④ 同じ相手であれば，常に同じコミュニケーションの方法をとったほうがよい

問 2　テレビ，新聞などのように特定の発信者から不特定多数の受信者に情報を発信するメディアを（　ア　）という。また，ネットワーク上で多数の人が情報を交換，共有しながら共同で情報を作り上げ，発信していくメディアを（　イ　）という。

(1) 空欄（ア）に入る語句として最も適切なものを，次の①～④のうちから一つ選びなさい。

① 記録メディア　　② ソーシャルメディア

③ 表現メディア　　④ マスメディア

(2) 空欄（イ）に入る語句として最も適切なものを，次の①～④のうちから一つ選びなさい。

① 記録メディア　　② ソーシャルメディア

③ 表現メディア　　④ マスメディア

問３　ソーシャルメディアの特徴として最も適切なものを，次の①～④のうちから一つ選びなさい。

①　多くの人が拡散している情報は，信ぴょう性が高い

②　偽情報や誤情報といった不確かな情報が広まることもある

③　ソーシャルメディアでは，一次情報ではなく，二次情報が扱われている

④　ソーシャルメディアは匿名性が高いので，何を書き込んでもよい

問４　ソーシャルメディアで得られた情報の信ぴょう性を検討するために必要なこととして最も適切なものを，次の①～④のうちから一つ選びなさい。

①　エゴサーチ　　②　クロスチェック

③　テキストマイニング　　④　ブレーンストーミング

# 第２講　メディアとコミュニケーション

## PART1　コミュニケーション手段の変化と影響

問１　誰でも発信できるから。誰でも容易に拡散できるから。など

問２　(1) みんなの関心ごとであり，自分たちの不安を解消してくれる，信じたい情報だから。

(2) ほかの人が勉強しなくなれば自分は得をする。

(3) 学校の先生に直接聞いてみる。他の集団に属する友達，先輩等に聞いてみる。など

## PART2　インターネットとコミュニケーション

問１　SNS で行われるアンケートは自分に近しい傾向を持ったフォロワーが対象になりやすく，世間の傾向とは必ずしも一致するものではないという危険性がある。

問２　(1) 省略　　(2) 省略

# 第 2 講　PART1　確認問題　解答

問 1　③

解説：
コミュニケーションは，ただ単に相手に情報を伝えるだけではなく，意味を分かち合ったり共有したりするために行うものである。
また，同期型，1 対多型など，形態によっていくつか種類があるので，目的や伝えたい内容にあわせて，コミュニケーションの方法を適切に選ぶ必要がある。

問 2

(1)　④

解説：
特定の発信者から不特定多数の受信者に情報を発信するメディアをマスメディアという。

(2)　②

解説：
ネットワーク上で多数の人が情報を交換，共有しながら，共同で情報を作り上げ，発信していくメディアをソーシャルメディアという。

問 3　②

解説：
ソーシャルメディアは偽情報や誤情報といった不確かな情報が広まることもあるので，情報の取り扱いには十分気をつけるべきである。

問 4　②

解説：
ソーシャルメディア上には不確かな情報（一部は偽情報・誤情報）も多くあふれている。クロスチェックなどを行い，情報の信ぴょう性をよく検討する必要がある。